

写真は第五小学校で行われたタブレットを使った研究発表の様子です。児童一人ひとりに対するきめ細かい指導が可能となり、児童も興味を持って問題に取り組む様子が見て取れます。



タブレット端末を利用した授業風景

このタブレットは家に持って帰ることができ、家庭学習の手助けとなります。結果は教師のタブレットに表示されるため個別指導が可能になります。

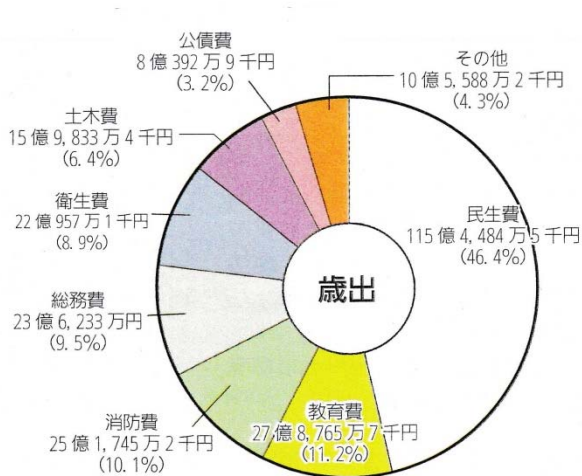
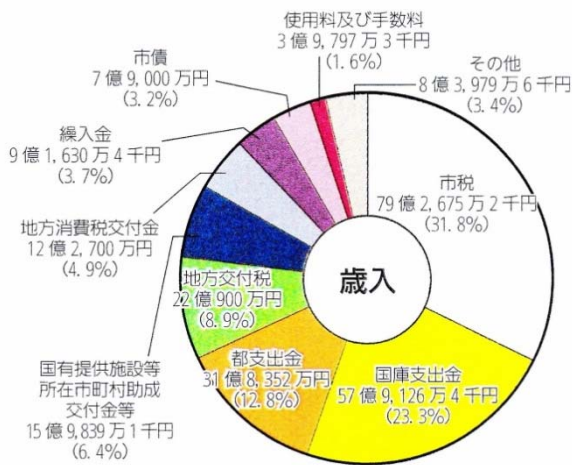
教育委員会では平成27年度以降も数々の取組を行っています。そのための計画書も着々と策定しています。3月には「福生市英語教育推進計画」、「福生市立学校の学力向上策」が出版されました。読み込まねば！

平成28年度予算

福生市では平成28年度から新公会計制度による財務会計処理を実施します。

これにより現在の決算資料のほかに新たに貸借対照表や事業別コスト計算書などの財務諸表が作成され、福生市が市民サービスを行う上でどれだけだけの資産を保有し、個々の事業にどのくらいのコストがかかっているのかが明らかになります。

また、市が行うすべての事業の成果をコストと対比することにより、財源が有効的に配分されているか、コストに見合う成果があがっているか検証できます。この説明及びグラフは市の情報を流用しています。



一般会計の予算額は、歳入歳出それぞれ248億8000万円と定められました。特別会計等を加えた総合計は394億9840万7千円となりました。これは史上最大規模の予算です。一般会計歳入・歳出の内訳を広報ふっさのグラフをもとに示します。見ますと、市税が79億2675万円、基地交付金が15億9839万円、国・都支出金が89億7478万円、市債（借金）が7億9000万円などです。一方、歳出では民生費が115億4484万円と歳出全体の46.4%を占めています。力を入れている教育費は27億8765万円です。

市債現在高は平成27年度末で76億1318万円、特定目的基金は52億9252万円、財政調整基金は21億9125万円となります。健全財政と言えるでしょう。

☆予算審査特別委員会より

新しい制度ということで、昨年9月の決算審査特別委員会に続き委員長を務めました。全ての事業について予算説明書が付いています。

採決の結果、共産党を除く会派の賛成で可決されました。

※財政調整基金…自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。福生市財政調整基金条例では第1条各年度間の財源の調整を図り、財政の効率的執行と健全な運営に資するため、福生市財政調整基金を設置する。と決められています。
 ※新公会計制度…地方公共団体の会計は現金主義による単式簿記が採用されています。この方法は、単年度での収支状況を正確に把握するという点では効果的ですが、土地・建物などの資産や市債残高などの負債の状況、現金支出で表れない減価償却費などの情報がわかりにくいという問題があります。（栃木県芳賀町ホームページより）福生市では西多摩で初めて新公会計制度の導入に踏み切りました。

